

あわら市をより豊かに!

あわら市議会議員

## 青柳あつし

市政報告 Vol.011

## ご挨拶

春光うらかな季節を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか。春は変化の季節と言われます。入園・入学、新社会人としてのスタート、引っ越しなど、新たな生活が始まる方も多いこの時期。変化が大きければ大きいほど、期待や不安も高まることでしょう。それぞれの新しい場所で皆さまが活躍されることを心からお祈り申し上げます。

あわら市にも大きな変化がありました。待望の北陸新幹線の延伸開業を迎え、観光や利便性の面で期待感がさらに高まっています。より賑わいを見せるあわら市を今後も持続的に

発展させるべく、全力を尽くしていく所存です。

さて、3月定例会において、新年度予算が可決されました。新年度予算では、「プレミアム付商品券」の夏季発行をはじめ、地域防災計画の見直し、公民館の改修による安全対策の強化、重層的支援制度を用いた子育てと福祉支援の充実、人口減少対策など、内容の充実と支援の強化を図っています。

皆さまに新設された制度の内容や利用方法をお伝えするとともに、制度がさらに利用しやすい仕組みとなるよう努めてまいります。今後とも皆さまの変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

元日に発生した能登半島地震で亡くなられた方々に、心からの哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。また、被災された皆様に対して、深い同情とお見舞いを申し上げます。

あわら市では、被害額 16 億円に上る甚大な損害が発生しました。幸い、死亡者は報告されていませんが、3 名が負傷されたとのことです。しかし、物理的な損害を超えて、心に残る傷は老若男女問わず深く、不安を感じる方が多かったのは事実だと思います。

そんな状況の中、「少しでもまちに活気をもたらし」「不安を少しでも軽減したい」という願いを込めて、「がんばろう北陸」と記されたのぼり旗を作成し、市内に掲示しました。この取り組みは、最初はわずかな人数から始まりましたが、商工会の支援を得て、次第に

がんばろう北陸

事業へと発展しました。今では 300 本を超えるのぼり旗が、市内外で風になびいています。

のぼり旗を掲げることで、地域のおじいちゃんやおばあちゃんをはじめ、多くの方からあたたかい声をいただきました。徐々にではありますが、まちに元気な声も戻ってきたように感じています。ご支援いただいた全国の皆さま、日々まっすぐに生きる地域の皆さまにはとても勇気づけられます。復興のシンボルであるのぼり旗は、同時に、全国や地域の皆さまへの感謝の気持ちも表しています。「人間は困難や逆境を乗り越えて成長する」——がんばろう、北陸。



## 3月議会 一般質問の裏側



3月定例会が2月26日から3月21日までの会期で開催されました。一般質問の裏側ということで、想い・考え方・反省点・今後をみなさまにお伝えします。なお、全文に関しては私のホームページに原文どおり掲載しています。

今回の一般質問では、「教育」をテーマに、子どもたちの未来を考える上での課題解決方法に焦点を当てました。この機会を通じて、あわら市がより豊かな社会へと進化するための新たな取り組みが始まることを期待しています。



## より良い教育環境の 実現のために何が必要か

近年、学校教育を取り巻く環境は大きく変化しました。タブレットを活用した学習や、部活動の地域移行、地域社会での課題解決学習など、様々な変化があります。これらは私たちが子どもだった頃の環境とは全く異なるものです。私立高校やインターナショナルスクール、全寮制の学校なども人気を集めています。

しかし環境が変わっても、学習指導や学童保育など、以前と同様の問題は依然として存在します。また、デジタルデバイス（情報格差）をはじめとする新しい問題も浮上してきました。教育委員会は状況を常に把握し、対策を講じ続ける必要があります。そのような教育環境の変化への対応と今後取り組むべき課題について、一般質問を行いました。

デジタルデバイスやツールの使用が教育現場で普及してきたことによって、今までにない試みや学びが実現している反面、新しい課題や格差が生まれています。子どもたちは、進化を続ける教育や環境の変化に柔軟に適応しています。私たち大人の役割は、より良い教育環境の実現のために何が必要かを考えること、また子どもたちを適

切にサポートすることです。

あわら市では、小さな気づきや不安に対して、教育だけでなく福祉の面からも多くの取り組みを行っています。何かお悩みのことがあれば、学校や相談機関に早めに相談していただきたいと思います。また公式LINEなどを通じて情報を積極的に発信していますので、こちらもぜひご利用ください。

あわら市の子どもたちは、礼儀正しく素晴らしい子たちばかりです。これは地域の皆さまの協力の賜物だと考えています。これからも、教育委員会、学校の先生、保護者だけでなく、地域全体で子どもたちを育て、彼らの未来を共に創っていきましょう。



あわら市の教育について

7月30日  
子ども議会  
開催決定





## 産業建設教育常任委員会

### 農業政策について

農業政策は、国や県の意向を受けての政策が非常に多く、あわら市の状況にフィットする動きになりづらいです。あわら市の強みをさらに伸ばすためには、あわら市の特徴を捉えたうえで、国や県に対してより多くの要望を届け、あわら市に有利な補助金を引き出してこなければなりません。要望がすぐに通るわけではありませんので、粘り強い姿勢で取り組んでまいります。



### 企業立地促進の取り組み

昨年より、ある企業からの要望もあって、所管課とともに事業用地のリストアップを進めています。このリストによって、拠点拡大を進めていく企業に対して事業用地の情報を迅速に届けられるようになります。また、土地所有者が自分の土地の活用方法を知るきっかけになるというのもメリットの一つです。こういった地道な努力があわら市への企業進出を促し、市のさらなる発展をもたらすと確信しています。製造業の町あわら市の未来を見据え、今後も所管課とともに情報整備の取り組みを進めてまいります。

## あわら音楽祭



芦原温泉駅西口賑わい施設「アフレア」にて開催されたあわら音楽祭は、アフレア周辺の会場も含め、7,500名以上のお客様にお楽しみいただきました。ご参加いただいた皆さまへ心から感謝を申し上げます。本イベントは、補助金に頼らずに実施する大規模イベントであり、私が金津春秋会のメンバーとして、提案・企画・設営・運営ま

で全面的に関わらせていただいたものです。最終的には、目標としていた来場者数及び経済効果を大きく上回る成果を達成し、無事に幕を閉じることができました。関係者の皆さま、お力添えいただきました皆さまに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

補助金に頼らない独自の収益モデルは、アフレアの持続可能かつ自立した運営には不可欠です。はじめての企画で得られた学びを活かしながら、今後もアフレアが駅前の賑わいを創出し続けるために何が必要かを考え、提案し、実行していきます。

最後に、金津春秋会の皆様、あわら三国ライオンズクラブの皆様、そしてこのイベントに足を運んでくださったすべての方々に、重ねて深く感謝申し上げます。







ENEOSとの連携

北陸新幹線金沢・敦賀間しゅん功開業式・祝賀会  
ハビラインふくい開業祝賀会に参加



祝 北陸新幹線金沢・敦賀間しゅん功開業式・祝賀会およびハビラインふくい開業祝賀会

## 活動報告

### Activity Reports



令和6年 芦原温泉旅館協同組合 年賀会

旅館組合年賀会



湯巡権三 あわら市公式キャラクター  
カリユウはなやすめ中? ふくい応援ガケモン



令和6年能登半島地震 対応



あわら市かるた大会



卒業式

## 青柳篤始 市政報告会開催

日時：5月19日(日曜日) 14:00～ 場所：IKOSSA 3階

みなさんのご意見をお聞かせください。

一般質問で意見募集

- 公共施設の活用について
- 官民連携事業について
- 子育て支援



### 編集後記

長女が成人式を迎えました。時が経つのはあっという間で、子どもの成長を目の当たりにすると、感慨深いものがあります。彼女が1歳の誕生日を迎えたときから、毎年欠かさず本をプレゼントしてきました。これは、彼女の成長をずっと願い続ける親としての心からの願いです。この先もずっと、誕生日には本を送り続けるつもりです。



メール・FAXは24時間受付  
 mail: [atsushi@a-aoyagi.com](mailto:atsushi@a-aoyagi.com)  
 FAX: 0776-73-5539  
 TEL: 0776-73-0313